

秋の気配に耳を傾けて

◇9月に入りましたが、相変わらず35度をこすような暑さが続いています。登校してくる子供たちも、朝からすでに汗だくです。登校中、周りに人がいなければ、マスクははずしていいよと伝えていますが、暑いときはお家を出る時も声かけをお願いします。

学校では、環境省の熱中症予報のサイトや、学校にある熱中症指数計の数値などを参考にしながら、休憩時間の外遊びや、体育の授業について判断しています。



◇そんな暑い毎日ではありますが、お盆の頃あたりからツクツクボウシの声を聞くようになりました。みなさんも、もうお聞きになりましたか？暑い夏にツクツクボウシの声を聞くと、「ああ、まだまだ暑いけれど、もう夏も終わりなんだなあ」と感じます。また昼間は暑くても、夜には「リリリリ」と、たくさんの虫の音も聞こえてきています。それらの声を聞くと、季節はちゃんと移ろっているんだと、ちょっとホッとします。

◇日本には、昔から、鳴く虫を虫かごに入れて楽しんだり、「虫売り」という職業があったりと、虫の音を楽しむ文化があったようです。

音楽の授業で「虫のこえ」を習った方も多いと思います。

あれまつむしが ないている チンチロチンチロ チンチロリン

あれすずむしも なきだして リンリンリンリン リンリン

あきのよながを なきとおす ああおもしろい むしのこえ

このような歌があるくらい、私たちにとっては自然に聞こえている虫の声ですが、「虫の声」として心地よいと感じているのは、世界の中でも日本人とあと少しくらいで、多くの国の人々には雑音にしか聞こえなかったり、聞こえていることにも気づかなかつたりするそうです。音を聞くときの脳の働きの違いだということですが不思議ですね。

◇今年は夏休みも短く、8月17日からすでに2学期も始まり、この暑い中子供たちは本当によくがんばっています。保護者の皆様もきっと夏のお疲れがたまっていることと思います。夜のひと時、お子様と一緒にゆっくり虫の音に耳を傾ける静かな時間を過ごしてみるのもよいのではないのでしょうか。



虫の音を あつめて星の 夜明けかな (織本花嬌)

< 学校長 >